

製品名: 張飛ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab20099

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	CREBZF
別名	CREBZF; ZF; CREB/ATF bZIP transcription factor; Host cell factor-binding transcription factor Zhangfei; HCF-binding transcription factor Zhangfei
遺伝子 ID	58487.0
SwissProt ID	Q9NS37
免疫原	抗血清はヒト CREBZF 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 221-270

背景

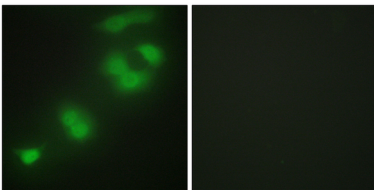
機能: HCFC1 に結合すると転写を強力に活性化する。ウイルス感染細胞において、HCFC1 依存的に HSV タンパク質の発現を抑制す

る。また、CREB3 による HCFC1 依存的な転写活性化を抑制し、細胞内の CREB3 量を減少させる。CREBZF 発現細胞において、一部の細胞遺伝子の発現をダウンレギュレーションすることができる。、その他: 西暦 220 年頃、陸満と同時代を生きた中国の伝説的な戦士、張飛にちなんで命名された。、類似性: bZIP ファミリーに属する。ATF サブファミリー。、類似性: 1 つの bZIP ドメインを含む。、細胞内局在: CREB3 および HCFC1 と共に核の点状構造に共局在する。、サブユニット: HCFC1 と相互作用し、CREB3 の転写活性を抑制します。、組織特異性: 成人では、心臓、肝臓、骨格筋に最も多く発現し、腎臓と膵臓に中程度に多く、肺ではほとんど検出されません。胎児組織では、腎臓に最も多く発現し、心臓、肺、肝臓では非常に少量です。、機能: HCFC1 に結合すると、転写を強力に活性化します。ウイルスに感染した細胞内で、HCFC1 依存的に HSV タンパク質の発現を抑制します。また、CREB3 による HCFC1 依存的な転写活性化を抑制し、細胞内の CREB3 量を減少させます。CREBZF 発現細胞において、一部の細胞遺伝子の発現をダウンレギュレーションすることができます。、その他: 西暦 220 年頃、陸曼と同時代を過ごした中国の伝説的な戦士、張飛にちなんで名付けられました。、類似性: bZIP ファミリーに属します。ATF サブファミリーです。、類似性: 1 つの bZIP ドメインを含みます。、細胞内局在: CREB3 および HCFC1 と共に核の点状構造に共局在します。、サブユニット: HCFC1 と相互作用し、CREB3 の転写活性を抑制します。、組織特異性: 成人では、心臓、肝臓、骨格筋に最も多く発現し、腎臓と膵臓に中程度に多く、肺ではほとんど検出されません。胎児組織では、腎臓に最も多く発現し、心臓、肺、肝臓には非常に少量しか発現しません。、

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; その他の因子

画像データ



CREBZF 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。